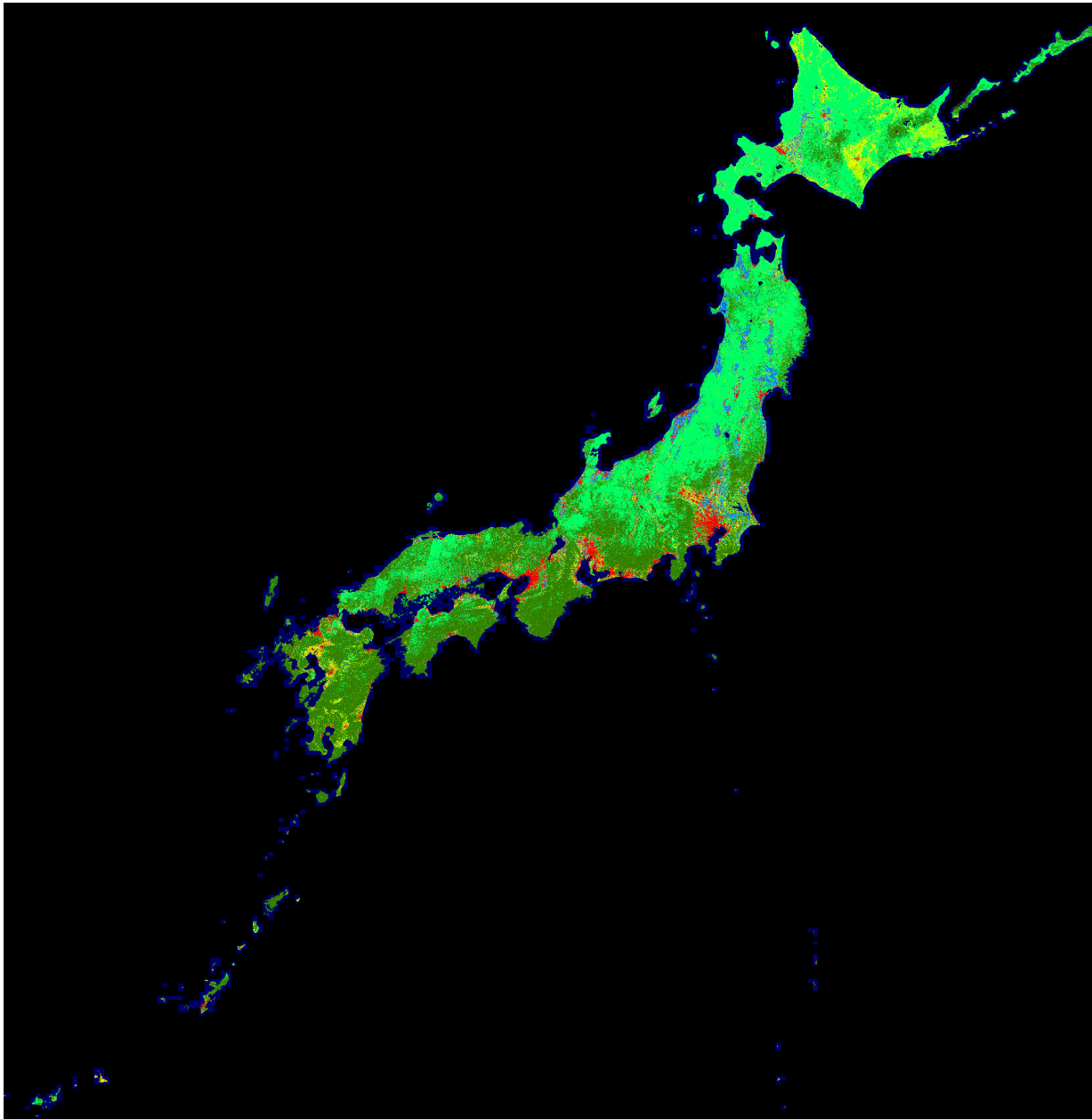


第2回 JAXA土地被覆ワークショップ

日程：2012年 5月25日（金） 10:00～17:30

場所：リモート・センシング技術センター(RESTEC) 本社 2F コンファレンスルーム1

日本全域の土地利用土地被覆図 (ver. 12.02)



ver. 命名規則
作成した西暦(2012年)
作成した月(02月)

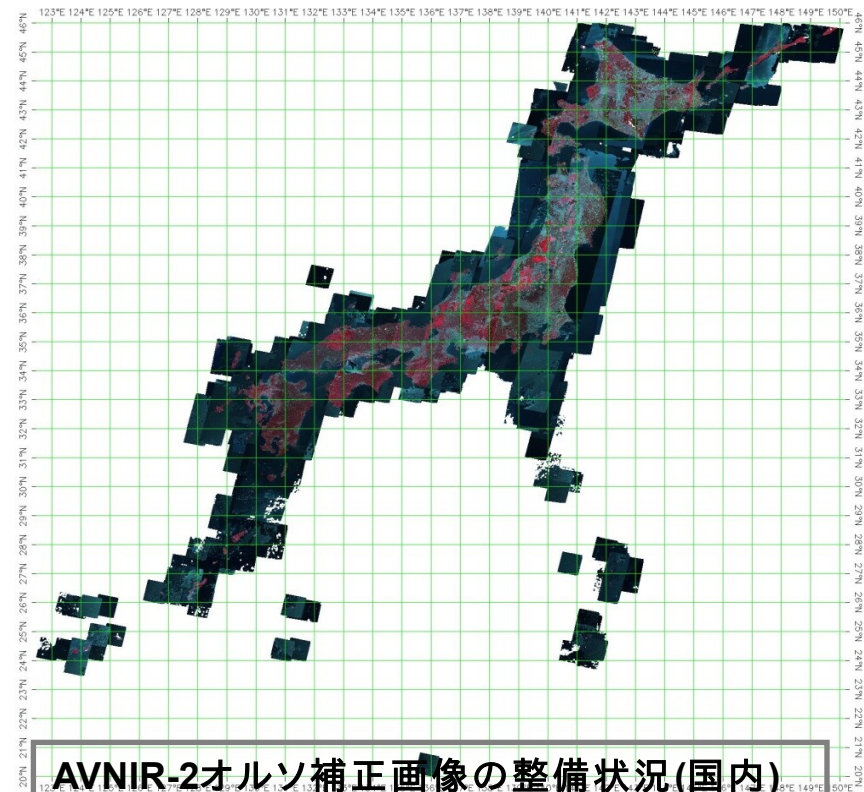
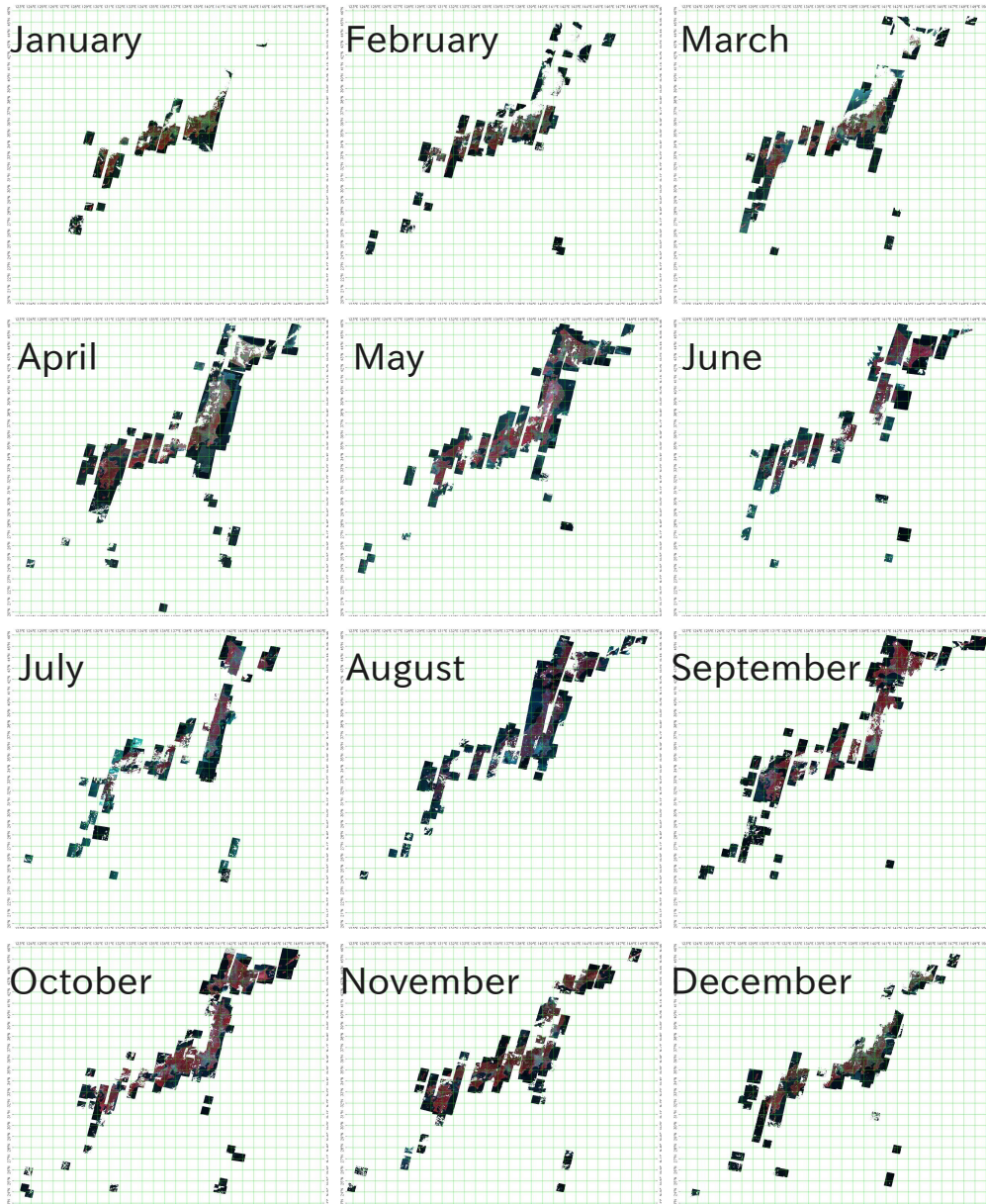
2012年3月1日 WEB公開

分解能: 50m相当
Line: 0.0004167度
Pixel: 0.0005度

カテゴリー Category

1	水域 Water
2	都市 Urban
3	水田 Paddy
4	畑地 Crop
5	草地 Grass
6	落葉樹 Deciduous forest
8	常緑樹 Evergreen forest
10	裸地, 砂地 Bare surface
11	雪氷 Snow and ice
	その他 other

AVNIR-2 オルソ補正画像整備状況



AVNIR-2オルソ補正画像の整備状況(国内)

カバー率:99.9%

入力データ (2,411シーン)

2006年5月7日~2011年4月17日観測

- (1) シーン単位で大気補正(レイリー補正)
- (2) 斜面勾配補正
- (3) 1度グリッドタイル月毎コンポジット

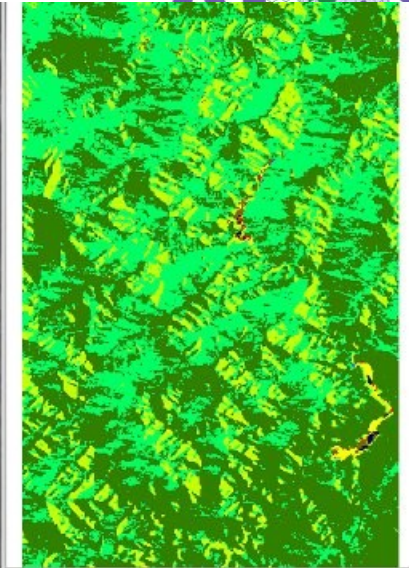
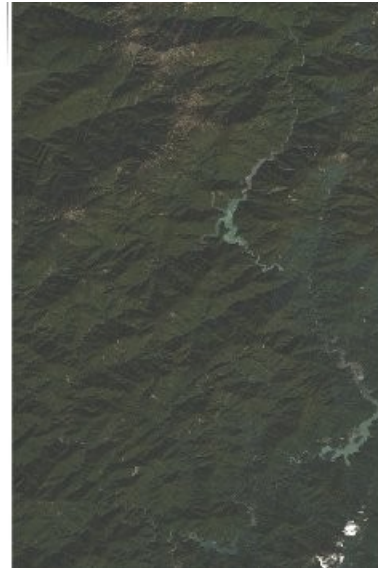
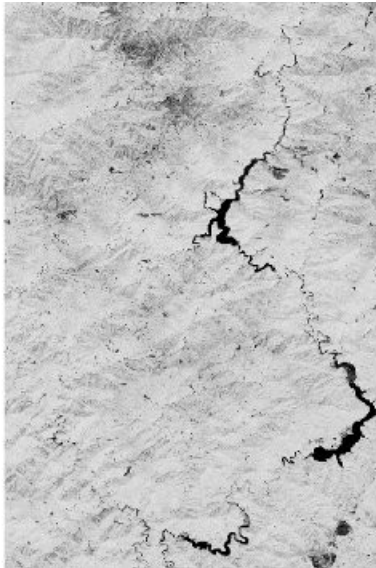
... こういうデータは、多くの人と共有すれば、もっと素晴らしい地域研究ができるはず。

AVNIR2 NDVI

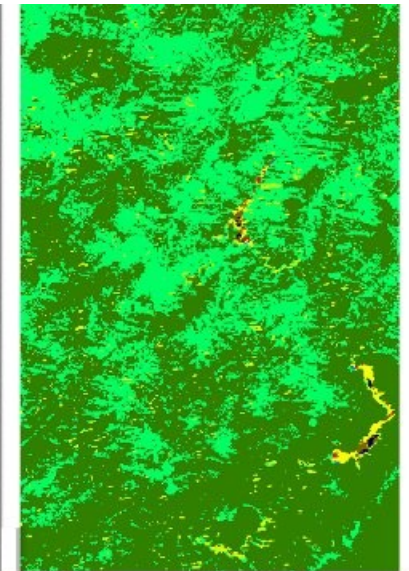
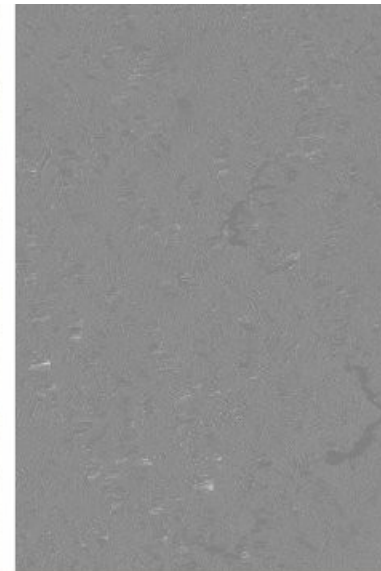
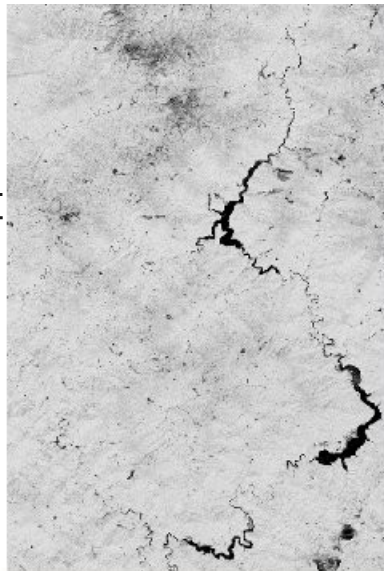
AVNIR2 RGB

PALSAR mosaic HV

landcover



地形放射量
補正なし



地形放射量
補正あり

10 km

地形放射量補正は土地被覆研究に必須!

地上検証データの整備

日本全国で均一になるように、全地域で整備
現時点の検証点： 約2,500 点

ü ALOS/AVNIR-2

ü 国土地理院 電子ポータル、自然環境保全基礎調査の公開情報 等

本プロダクトにおけるカテゴリー	国土利用現況におけるカテゴリー	面積率(%)	正答率 (表1より, %)	面積率を換算した精度(%)
落葉樹+常緑樹	森林	66.4	97.5	64.7
水田+畑地	農用地	12.5	65.8	8.2
都市	宅地+ 道路	8.6	87.3	7.5
水域	水面・河川・水路	3.5	42.5	1.5
草地+裸地	その他	9.1	45.3	4.1

- 地上検証データの質・量を上げたい。
 - 教師付き分類のための教師データも整備したい。
- こういう願いはみんなが持っているはず。

第1回 土地被覆ワークショップ



日時: 2012年01月24日 14:00～18:30

場所: 筑波大学春日キャンパス情報メディアユニオン2F ホール

出席者:

(RESTEC) 渡辺知弘・伊藤拓弥・富山信弘・道津正徳

(高知工科大) 高木方隆, (農環研) 岩崎亘典, (農工研) 瑞慶村知佳, (東海大) 福江潔也,

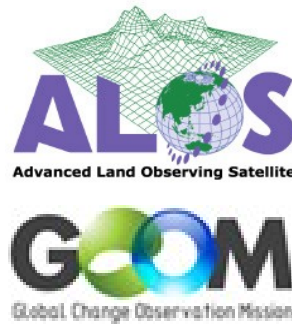
(千葉大) 谷川聡, (筑波大) 奈佐原顕郎・村上和隆・野田響・田中健太郎・熊谷俊明・幕田裕貴・藤平啓,

(筑波大) 及川武久名誉教授

地上検証点情報の収集法と共有に関する情報交換

- ▶ 写真の撮り方は、標準化が必要である
- ▶ 今後のGCP計測に利用できそうである。検証点のDBは、検証点の場所(計測した点)と目的(検証/GCP)で検索し、アクセスできる感じがいい。
- ▶ ポイントとなる課題
 - データ取得者→既知の専門家のみか不特定多数のユーザーか
 - ランダムポイントのデータの整理方法
 - 用語の統一は、使いやすさ・汎用性に重要。
 - GPSカメラの仕様の違い --- exifに書かれる情報に違い。機種も重要。
 - データベースの構築のみならず、SNS等のコミュニケーションサイトも必要
- ▶ 標準化が重要。
 - 共有するために「何」を標準化するか
 - 共有時は既知のフォーマットを利用すると良い
 - 過去のデータ等も活用するよい

JAXA 第2回 土地被覆ワークショップ



日程: 2012年 5月25日(金) 10:00~17:30

場所: リモート・センシング技術センター(RESTEC) 本社 2F コンファレンスルーム1

JAXAのデータを用いた土地被覆研究について、**日本各地の研究グループと連携・協力**したい。

- ALOS/AVNIR-2データを用いた土地被覆研究連携

... 地域研究グループに対して、AVNIR2の各種補正済みデータを提供・共有

- 教師・検証情報の統一的な取得・共有手法の検討と提案

... 全国の教師・検証情報を整備・共有。技術開発・支援・コミュニティ形成。

—————▶ 2012夏, 合宿?

- 重点活動地域の展開

... 地域研究と教師・検証情報が進展する地域を選び、今後の集中観測体制を整備

- 地域プロダクトとグローバルプロダクトの連携

... 日本の土地被覆プロダクトの精度を高め、グローバルプロダクトの検証情報に。

海外(まずは東南アジア?)でも、上記のアプローチを広げる。

スケジュール



- 10:00 - 10:30 開会・趣旨説明・AVNIR-2高解像度土地被覆図について 奈佐原/高橋
- 10:30 - 11:00 高山生態系・生物多様性監視のための土地被覆・利用データの重要性 小熊宏之 (NIES)
- 11:00 - 11:30 AVNIR-2日本データセット整備状況(幾何精度・地形補正その他) 道津正徳 (RESTEC)
- 11:30 - 12:00 土地被覆研究のための衛星画像補正処理 飯倉善和 (弘前大学)
- 12:00 - 12:30 議論
- 12:30 - 休憩
- 13:30 - 14:00 北海道大学研究林 柴田英昭 (北海道大学)
- 14:00 - 14:30 教師(検証)データ整備プロトコル 富山信弘 (RESTEC)
- 14:30 - 15:00 議論・休憩
- 15:00 - 15:30 GCOM-Cによるグローバル土地被覆図 福江潔也 (東海大学)
- 15:30 - 16:00 グローバル土地被覆図と検証データ 加藤杏奈 (名古屋大学)
- 16:00 - 16:30 議論・休憩
- 16:30 - 17:00 土地被覆分類に関する研究紹介と四国における研究者間連携 松岡真如 (高知大学)
- 17:00 - 17:30 議論・まとめ・散会
- 18:00 - 懇親会

ALOS-2, 3の進捗状況の報告